

## 『訪問販売』の研究 Ⅲ

## — 山陽地方における高齢者の調査から —

## A Study on Direct Marketing Part Ⅲ:

## A Questionnaire to Sanyo District Senior Citizens

(1993年4月7日受理)

沢 津 久 司

Hisashi Sawazu

Key words: 訪問販売, 山陽地方, 高齢者

## Ⅰ はじめに

近年、高齢者や若者に対する『訪問販売』を利用した一部の悪徳商法が横行し、行政機関・新聞・テレビ等を通じて注意喚起がなされることが多くなってきた。いうまでもなく高齢者や若者は『訪問販売』に対する知識が乏しいため被害を受けやすく、貴重な老後資金をだましとられ悲嘆にくれる高齢者の事件や不用意に購入・契約させられた商品等のローン支払いのためアルバイトに励むという学生、多重債務により返済不能に陥り自己破産する若者の現象が多数起こっている。複雑・多様化する現代社会では、巧妙な新手の商法も次々あらわれ、ますます『訪問販売』に対する知識が要求されるところである。このような状況下、筆者は、学生に対して7年前から「法学」授業において、各種商法の手口等を記載した『訪問販売』パンフレットを用いて注意を呼びかけるとともに、『訪問販売』についての調査を行い、『訪問販売の研究』Ⅰ・Ⅱとして発表してきた<sup>1)</sup>。

今回は、若者同様に悪徳商法に狙われているが、あまり実態調査の行われていない高齢者の『訪問販売』についての調査を行い、高齢者の『訪問販売』に対する知識、意識、対応を探り、悪徳商法による被害を防ぐ方策をどのように考えているか、これまでどのような『訪問販売』被勧誘や購入・契約の体験があるのか等明らかにし、悪徳商法による被害を防ぐための対策の一助としたい。

## Ⅱ 研究方法

## 1. 調査対象

山陽地方における主要都市である岡山市、倉敷市、福山市に居住する60歳以上の高齢者を対象とした。3市の老人クラブ連合会の協力を得て、岡山市は81小学校区内老人クラブ会員160

表1 調査人数等

区分 地域	性 別				年 代 別				
	男	女	無回答	計	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	計
岡山市	62	8	1	71	13	42	15	1	71
倉敷市	69	36		105	26	64	12	3	105
福山市	54	16	1	71	22	41	7	1	71
計	185	60	2	247	61	147	34	5	247

名、倉敷市は54小学校区内老人クラブ会員140名、福山市は59小学校区内老人クラブ会員120名を対象とした（3市とも1老人クラブ2名対象）。回答者の地域別、性別、年代別人数は表1のとおりである。

## 2. 調査時期

調査年月は、岡山市は1993年1月、倉敷市および福山市は1993年2月である。

## 3. 調査方法

調査方法は、岡山市および福山市は老人クラブ連合会役員総会で、筆者が「訪問販売に関する調査用紙」を配布・説明し、後日郵送により回収した。倉敷市は老人クラブ役員が調査用紙を持ち帰り、各小学校区内老人クラブ会員に配布し、後日郵送により回収した。

## 4. 調査項目

『訪問販売』に関し、

- ①高齢者の『訪問販売』に対する知識取得および知識普及について
- ②高齢者の『訪問販売』に対する意識等について
- ③高齢者の各種『訪問販売商法』被勧誘、購入・契約体験について等の調査を行った。

# III 結 果

今回の調査について、高齢者の地域別、性別、年代別に集計し、以下の結果を得た。

## 1 高齢者の『訪問販売』に対する知識取得および知識普及について

### (1) 『訪問販売』に関する講演・話の有無

高齢者は、一部の悪質な訪問販売の被害を防止するために、どこで訪問販売に関する「講演・話」を聞いているのであろうか。

表2のとおり、訪問販売に関する「講演・話」を聞いたことがあると答えた者は、地域別では、岡山市90.1%、倉敷市86.7%、福山市85.7%と、いずれも高い数値となっている。

どこで聞いたかについては表3のとおり、岡山市では「テレビで」に次いで「老人大学で」という者が多い。倉敷市および福山市では「テレビで」に次いで「友人・知人から」という者が多い。全体では「テレビで」の61.4%を筆頭に、「友人・知人から」「公民館講座で」「隣近所の人から」「老人大学で」が21%以上となっている。これらに比べると、「消費生活センター等の講演会で」は8.9%と少ない。

性別では、聞いたことがあると答えた者は男性87.0%、女性86.7%とほぼ同じであるが、男性は「テレビで」「老人大学で」「ラジオで」という者が女性より多い。女性は「家族から」「友人・知人から」「隣近所の人から」という者が男性より多い。

年代別では、聞いたことがあると答えた者は60歳代82.0%、70歳代89.8%、80歳以上87.5%となっている。60歳代は「テレビで」「友人・知人から」「隣近所の人から」が多く、70歳代は「テレビで」「友人・知人から」が多い。80歳以上は「テレビで」「老人大学で」「公民館講座で」「友人・知人から」などが多い。なお、「老人大学で」「テレビで」「ラジオで」「隣近所の人から」等は年代間に差がみられる。

表2 訪問販売に関する講演や話を聞いたことの有無

有無	地域別				性別		年代別		
	岡山市	倉敷市	福山市	計	男	女	60歳代	70歳代	80歳以上
あ	64人 90.1%	91人 86.7%	60人 85.7%	215人 87.4%	161人 87.0%	52人 86.7%	50人 82.0%	132人 89.8%	28人 87.5%
な	7 9.9	14 13.3	10 14.3	31 12.6	24 13.0	8 13.3	11 18.0	15 10.2	4 12.5

表3 訪問販売に関する講演や話をどこで聞いたか (複数回答)

どこで	地域別				性別		年代別		
	岡山市	倉敷市	福山市	計	男	女	60歳代	70歳代	80歳以上
公民館講座で	18人 25.4%	20人 19.0%	18人 25.7%	56人 ③22.8%	41人 22.2%	14人 23.7%	13人 21.3%	32人 21.8%	8人 24.2%
老人大学で	23 32.4	23 21.9	7 10.0	53 ⑤21.5	42 22.7	10 16.9	7 11.5	32 21.8	12 36.4
消費生活センター等での講演	7 9.9	12 11.4	3 4.3	22 ⑧8.9	15 8.1	7 11.9	5 8.2	12 8.2	4 12.1
テレビで	44 62.0	67 63.8	40 57.1	151 ①61.4	116 62.7	33 55.9	31 50.8	103 70.1	14 42.4
ラジオで	6 8.5	12 11.4	6 8.6	24 ⑦9.8	21 11.4	3 5.1	8 13.1	16 10.9	0 0.0
家族から	10 14.1	19 18.1	4 5.7	33 ⑥13.4	19 10.3	13 22.0	10 16.4	18 12.2	4 12.1
友人・知人から	17 23.9	40 38.1	20 28.6	77 ②31.3	55 29.7	21 35.6	18 29.5	49 33.3	8 24.2
隣近所の人から	13 18.3	25 23.8	16 22.9	54 ④22.0	38 20.5	15 25.4	18 29.5	31 21.1	3 9.1
その他	4 5.6	1 1.0	5 7.1	10 ⑨4.1	8 4.3	2 3.4	0 0.0	8 5.4	2 6.1
有効回答者数	n=71	n=105	n=70	n=246	n=185	n=59	n=61	n=147	n=33

## (2) 『訪問販売』に関する新聞記事、市政だより記事の閲読の有無

訪問販売に関する「新聞記事」「市政だより記事」は近年増大し、消費者に対して悪徳商法への注意を呼びかけているところである。

表4のとおり、訪問販売に関する「新聞記事」を読んだことがある者は、地域別では、岡山市90.0%、倉敷市88.3%、福山市85.3%と、いずれも高い数値である。

性別では、男性90.0%、女性83.1%と差があり、男性の方がよく目を通してている。

年代別では、60歳代91.5%、70歳代88.4%、80歳以上81.3%と、加齢にともない低下している。

「市政だより記事」を読んだことがある者は、地域別では、岡山市61.4%、倉敷市72.2%、福山市47.8%と、かなりバラツキがみられ、倉敷市では「市政だより記事」に高齢者がよく目を通してている状況がうかがわれる。性別では、男性61.8%、女性62.5%と差は少ない。年代別では、60歳代60.0%、70歳代62.1%、80歳以上62.5%と、あまり差はみられない。

表4 訪問販売に関する新聞記事・市政だより記事閲読の有無 (複数回答)

有無	地域別				性別		年代別		
	岡山市	倉敷市	福山市	計	男	女	60歳代	70歳代	80歳以上
新聞記事である	63人 90.0%	91人 88.3%	58人 85.3%	212人 88.0%	162人 90.0%	49人 83.1%	54人 91.5%	129人 88.4%	26人 81.3%
ない	7 10.0	12 11.7	10 14.7	29 12.0	18 10.0	10 16.9	5 8.5	17 11.6	6 18.8
市政だよりである	43 61.4	70 72.2	33 47.8	146 61.9	110 61.8	35 62.5	36 60.0	87 62.1	20 62.5
ない	27 38.6	27 27.8	36 52.2	90 38.1	68 38.2	21 37.5	24 40.0	53 37.9	12 37.5

## (3) 『訪問販売』に関する知識の普及について

表5のとおり、訪問販売に関する知識の普及については、地域別にみると、岡山市では「テレビで」の82.9%を筆頭に、「新聞で」「老人クラブで講演会を」「市政だよりで」が50%以上であり、倉敷市では「テレビで」の82.2%を筆頭に、「市政だよりで」「新聞で」「老人クラブで講演会を」が50%以上、福山市では「テレビで」の72.7%を筆頭に、「新聞で」「市政だよりで」「老人クラブで講演会を」が50%以上である。倉敷市では「市政だより」に対する期待が「新聞で」以上になっていることが注目される。

性別では、男性は「テレビで」の他、「新聞で」「市政だよりで」「老人クラブで講演会を」「警察の広報で」「消費生活センターの広報で」などが高く、特に活字に対する期待が高い。逆に女性は「テレビで」に対する期待が高いが、「新聞で」「市政だよりで」「消費生活センターの広報で」「ラジオで」は男性より低い。さらに、年代別では、60歳代は「テレビで」「新聞で」に次いで「老人クラブで講演会を」が高くなっている。また、「消費生活センターの広報で」に対する期待も高い。70歳代は「テレビで」「新聞で」の他、「市政だよりで」「警察の広報で」などメディアに対する期待が高い。80歳以上は「テレビで」「新聞で」の他、「老人クラブで講演会を」に対する期待、換言すれば見るよりも聞くことの方への期待が高くなっている。

表5 訪問販売に関する知識を広く国民に知らせるには

(複数回答)

区分	地 域 別				性 別		年 代 別		
	岡山市	倉敷市	福山市	計	男	女	60歳代	70歳代	80歳以上
新 聞 で	49人 70.0%	59人 58.4%	40人 60.6%	148人 ②62.4%	118人 65.9%	30人 53.6%	33人 55.9%	94人 66.7%	19人 59.4%
テ レ ビ で	58 82.9	83 82.2	48 72.7	189 ①79.7	140 78.2	47 83.9	47 79.7	114 80.9	24 75.0
ラ ジ オ で	19 27.1	18 17.8	14 21.2	51 ⑦21.5	43 24.0	8 14.3	13 22.0	32 22.7	6 18.8
学 校 の 授 業 で	14 20.0	14 13.9	13 19.7	41 ⑧17.3	32 17.9	9 16.1	6 10.2	29 20.6	6 18.8
市 政 だ よ り で	35 50.0	65 64.4	37 56.1	137 ③57.8	106 59.2	30 53.6	29 49.2	88 62.4	16 50.0
老 人 ク ラ ブ で 講 演 会 を	37 52.9	54 53.5	33 50.0	124 ④52.3	92 51.4	30 53.6	30 50.8	67 47.5	22 68.8
消 費 生 活 セ ン タ ー が も っ と 広 報 す る	23 32.9	29 28.7	11 16.7	63 ⑥26.6	52 29.1	11 19.6	21 35.6	36 25.5	6 18.8
警 察 が も っ と 広 報 す る	16 22.9	31 30.7	23 34.8	70 ⑤29.5	55 30.7	15 26.8	16 27.1	44 31.2	9 28.1
そ の 他	3 4.3	3 3.0	2 3.0	8 ⑨3.4	7 3.9	1 1.8	2 3.4	5 3.5	1 3.1
有効回答者数	n = 70	n = 101	n = 66	n = 237	n = 179	n = 56	n = 59	n = 141	n = 32

## 2 高齢者の『訪問販売』に対する意識等について

## (1) 『訪問販売』に対する意識

訪問販売に関する「新聞記事」「テレビ番組」「市政だより記事」等が増大し、事件・事故が報道されているなか、高齢者自身はどのような意識を有しているであろうか。

表6 訪問販売に対する考え

(複数回答)

区分	地 域 別				性 別		年 代 別		
	岡山市	倉敷市	福山市	計	男	女	60歳代	70歳代	80歳以上
便利で利用価値ある	3人 4.5%	1人 1.0%	3人 4.5%	7人 3.0%	5人 2.8%	2人 3.6%	2人 3.4%	5人 3.7%	0人 0.0%
unnecessaryなものを買わされる	42 62.7	63 63.0	39 59.1	144 61.8	107 60.8	37 67.3	44 74.6	81 59.6	16 48.5
悪徳業者が多い	36 53.7	62 62.0	38 57.6	136 58.4	106 60.2	28 50.9	28 47.5	79 58.1	24 72.7
そ の 他	10 14.9	10 10.0	7 10.6	27 11.6	19 10.8	8 14.5	5 8.5	19 14.0	3 9.1
有効回答者数	n = 67	n = 100	n = 66	n = 233	n = 176	n = 55	n = 59	n = 136	n = 33

表6のとおり、地域別でみると、岡山市では「訪問販売では不必要なものを買わされると思う」者が62.7%と多く、倉敷市も63.0%、福山市も59.1%であり、全体でも61.8%と多くなっている。次いで「訪問販売には悪徳業者が多いと思う」者が岡山市では53.7%、倉敷市では62.0%、福山市では57.6%、全体で58.4%と多い。そして、「訪問販売は便利で利用価値があると思う」者は全体で3.0%程度と極めて少ない<sup>2)</sup>。この中には、訪問販売の規制には含まれない生鮮食料品の移動販売や御用聞き販売を便利と考えている者もあるので、正確に理解した場合、さらにその数値は低下するものと思われる。

性別では、特に女性に「不必要なものを買わされると思う」者が67.3%と多く、逆に、男性は「悪徳業者が多いと思う」者が60.2%と女性より多くなっている。

年代別では、60歳代は「不必要なものを買わされると思う」者が74.6%と多いが、逆に、80歳以上は「悪徳業者が多いと思う」者が72.7%と多く、訪問販売を警戒している状況がうかがわれる。70歳代は「不必要なものを買わされると思う」者59.6%、「悪徳業者が多いと思う」者58.1%とほぼ同じである。

## (2) 『訪問販売』への対応

この質問については、上記(1)訪問販売に対する意識も反映していると思われるが、「断る」という者が、地域別では、岡山市で82.3%、倉敷市で88.3%、福山市で85.9%、全体で85.9%と圧倒的に多い。

性別では、特に女性に「断る」という者が89.3%と多い。年代別では、80歳以上に「断る」という者が89.3%と多い。なお、その他の対応としては、「(一応)話だけは聞く」という者が全体で6.8%となっている。(表略)。

## (3) 『訪問販売』トラブル時の相談先等

訪問販売をめぐる、トラブルが生じたときの相談先を求めたところ、表7のとおり、地域別にみると、全体では「警察に届ける」という者が58.6%と最も多い。岡山市では55.9%、倉敷市では56.0%、福山市では65.2%で、福山市が最も高くなっている。次いで、全体では「消費生活センターに相談する」「家族に相談する」が50.0%以上となっており、「市役所の担当課に相談する」が24.1%となっている。岡山市では「消費生活センターに相談する」という者が60.3%と多いが、福山市では43.5%と「警察に届ける」という者65.2%より少なくなっている。倉敷市では「警察に届ける」「消費生活センターに相談する」の両者はほぼ同率である。

表7 訪問販売をめぐるトラブルにまきこまれたときの相談先等

(複数回答)

区分	地 域 別				性 別		年 代 別		
	岡山市	倉敷市	福山市	計	男	女	60歳代	70歳代	80歳以上
家族に相談	31人 45.6%	54人 54.0%	37人 53.6%	122人 ③51.5%	85人 47.5%	37人 64.9%	32人 54.2%	73人 51.4%	15人 46.9%
友人・知人に相談	11 16.2	21 21.0	12 17.4	44 ⑤18.6	36 20.1	8 14.0	6 10.2	31 21.8	6 18.8
隣近所の人に相談	2 2.9	11 11.0	7 10.1	20 ⑦8.4	14 7.8	6 10.5	6 10.2	10 7.0	2 6.3
警察に届ける	38 55.9	56 56.0	45 65.2	139 ①58.6	112 62.6	26 45.6	28 47.5	87 61.3	20 62.5
消費生活センターに相談	41 60.3	52 52.0	30 43.5	123 ②51.9	93 52.0	29 50.9	37 62.7	71 50.0	14 43.8
弁護士に相談	10 14.7	7 7.0	6 8.7	23 ⑥9.7	18 10.1	4 7.0	6 10.2	14 9.9	3 9.4
市役所の担当課に相談	15 22.1	26 26.0	16 23.2	57 ④24.1	45 25.1	12 21.1	12 20.3	37 26.1	7 21.9
新聞社に投書	0 0.0	5 5.0	3 4.3	8 ⑧3.4	7 3.9	1 1.8	2 3.4	6 4.2	0 0.0
議員・政党に相談	1 1.5	3 3.0	0 0.0	4 ⑩1.7	4 2.2	0 0.0	1 1.7	3 2.1	0 0.0
泣き寝入りする	1 1.5	1 1.0	5 7.2	7 ⑨3.0	6 3.4	1 1.8	2 3.4	4 2.8	1 3.1
その他	1 1.5	3 3.0	1 1.4	5 ⑩2.1	5 2.8	0 0.0	1 1.7	2 1.4	2 6.3
有効回答者数	n=68	n=100	n=69	n=237	n=179	n=57	n=59	n=142	n=32

性別では、男性は「警察に届ける」という者が62.6%と多く行動的であるが、女性は「家族に相談する」という者が64.9%、「消費生活センターに相談する」という者が50.9%と、「警察に届ける」という者45.6%より多く、男性とは対照的である。

年代別では、60歳代は「消費生活センターに相談する」という者が62.7%と多いが、70歳代・80歳以上は「警察に届ける」という者が62.0%前後と多く、上記1の(4)訪問販売に関する知識の普及についての警察に対する期待の高さと適合している。

#### (4) 『訪問販売』に関する高齢者取消権について

訪問販売に関する「高齢者取消権」については、時期尚早との指摘もあり<sup>3)</sup>、具体化も日程にのぼっていない。しかし、高齢者自身はどのように考えているであろうか。高齢者自身が前向きであれば、いざれ難題をクリアーして、具体化の検討が行なわれる可能性もでてくる。一方では、「高齢者は未成年者とは異なって、社会経験が豊富なので取消権を認めなくても大丈夫である。」との意見もあり、高齢者自身の考えを知りたいところである。

表8のとおり、地域別では、全体では「高齢者取消権」に賛成が87.1%、反対が4.6%、わからないが8.3%と、圧倒的に賛成が多くなっている。

性別では、女性に賛成が89.7%と多く、反対は一人もいない。

年代別では、加齢にともない徐々に賛成が増し、80歳以上は93.8%となっている。また、80歳以上では反対は一人もいない。

表8 訪問販売に関する高齢者取消権

区分	地 域 別				性 別		年 代 別		
	岡山市	倉敷市	福山市	計	男	女	60歳代	70歳代	80歳以上
賛成である	61人 88.5%	90人 88.2%	59人 84.3%	210人 87.1%	156人 86.2%	52人 89.7%	50人 84.7%	125人 86.2%	30人 93.7%
反対である	3 4.3	7 6.9	1 1.4	11 4.6	11 6.1	0 0.0	3 5.1	8 5.5	0 0.0
わからない	5 7.2	5 4.9	10 14.3	20 8.3	14 7.7	6 10.3	6 10.2	12 8.3	2 6.3

#### (5) 『訪問販売』に関する高齢者取消権は何歳からが適当か

上記2の(4)訪問販売に関する「高齢者取消権」については賛成が多数であるが、その年齢については何歳からが適当であろうか。高齢者の自らの体験を反映した年齢を選択してもらった。

表9のとおり、地域別では、岡山市および福山市では「70歳から」という者が多いが、倉敷市では「60歳から」という者が多く、全体では「70歳から」「60歳から」「65歳から」に分散している。

表9 訪問販売に関する高齢者取消権の年齢は何歳から

区分	地 域 別				性 別		年 代 別		
	岡山市	倉敷市	福山市	計	男	女	60歳代	70歳代	80歳以上
60歳から	14人 23.7%	30人 34.6%	19人 32.2%	63人 30.7%	40人 26.1%	23人 46.0%	16人 32.0%	37人 30.8%	9人 30.0%
65歳から	20 33.9	23 26.4	13 22.0	56 27.3	45 29.4	11 22.0	10 20.0	36 30.0	9 30.0
70歳から	21 35.6	28 32.2	26 44.1	75 36.6	61 39.8	13 26.0	20 40.0	42 35.1	11 36.7
75歳から	1 1.7	2 2.3	1 1.7	4 2.0	1 0.7	2 4.0	0 0.0	2 1.7	1 3.3
80歳から	2 3.4	3 3.4	0 0.0	5 2.4	4 2.6	1 2.0	4 8.0	1 0.8	0 0.0
85歳から	1 1.7	0 0.0	0 0.0	1 0.5	1 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0
その他	0 0.0	1 1.1	0 0.0	1 0.5	1 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0
有効回答者数(賛成者のみ回答)	n=59	n=87	n=59	n=205	n=153	n=50	n=50	n=120	n=30

性別では、男性は「70歳から」という者が多く、女性は「60歳から」という者が多い。

年代別では、60歳代、70歳代、80歳以上とも「70歳から」という者が多い。

#### (6) クーリング・オフについて

クーリング・オフについての知識があることは、訪問販売トラブルについて高齢者に有利になると思われる。表10のとおり、地域別にみると、全体では「知っている」と答えた者は80.2%で、岡山市87.0%、倉敷市79.6%、福山市74.6%と人口順に低下している。

性別では、男性81.9%、女性74.6%と男性が高い。年代別では、80歳以上が87.5%と、60歳代81.7%、70歳代78.1%よりも高く、老人大学など社会教育参加によって知識を吸収していることを示している。

表10 訪問販売に関するクーリングオフ

区分	地 域 別				性 別		年 代 別		
	岡 山 市	倉 敷 市	福 山 市	計	男	女	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 以上
知・不知									
知 っ て い る	60人 87.0%	82人 79.6%	53人 74.6%	195人 80.2%	149人 81.9%	44人 74.6%	49人 81.7%	114人 78.1%	28人 87.5%
知 ら な い	9 13.0	21 20.4	18 25.4	48 19.8	33 18.1	15 25.4	11 18.3	32 21.9	4 12.5

#### (7) 高齢者を一部の悪徳商法から守る方策について

高齢者を一部の悪徳商法から守る方策については表11のとおり、地域別にみると、全体では「高齢者も訪問販売の知識をもっと身につける」が61.3%と最も高く、次いで「悪徳業者の取締りや罰則を厳しくする」が46.1%、「高齢者にも取消権を認める」が37.4%となっている。

性別でも、「高齢者も訪問販売の知識をもっと身につける」が男女とも最も高い。男性は「悪徳業者の取締りや罰則を厳しくする」が女性より15%も多いが、逆に、女性は「高齢者も訪問販売の知識をもっと身につける」「高齢者にも取消権を認める」が男性よりも多くなっている。

年代別では、「高齢者も訪問販売の知識をもっと身につける」が最も高い。60歳代は「高齢者にも取消権を認める」が「悪徳業者の取締りや罰則を厳しくする」よりも多いが、70歳代・80歳代では「悪徳業者の取締りや罰則を厳しくする」が「高齢者にも取消権を認める」よりも多くなっている。

表11 高齢者を悪徳商法から守る方策

(複数回答)

区分	地 域 別				性 別		年 代 別		
	岡 山 市	倉 敷 市	福 山 市	計	男	女	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 以上
悪徳業者の取締りや罰則を厳しくする	27人 40.3%	46人 48.4%	33人 48.5%	106人 46.1%	87人 49.4%	18人 34.6%	19人 33.9%	69人 50.7%	15人 45.5%
高齢者も訪問販売の知識をもっと身につける	40 59.7	58 61.1	43 63.2	141 61.3	104 59.1	36 69.2	35 62.5	79 58.1	23 69.7
高齢者にも取消権を認め	24 35.8	34 35.8	28 41.2	86 37.4	64 36.4	22 42.3	24 42.9	48 35.3	13 39.4
そ の 他	5 7.5	5 5.3	5 7.4	15 6.5	12 6.8	3 5.8	6 10.7	8 5.9	1 3.0
有効回答者数	n = 67	n = 95	n = 68	n = 230	n = 176	n = 52	n = 56	n = 136	n = 33

### 3 高齢者の各種『訪問販売商法』の被勧誘、購入・契約体験および購入・契約率について

高齢者の各種訪問販売商法の体験については、(1)勧誘されたが購入・契約を断わった体験、(2)勧誘されて購入・契約した体験、(3)勧誘されたことがないの3種がある。なお、(1)および(2)から(4)各種訪問販売商法の購入・契約率（勧誘されたが購入・契約を断わった者と、勧誘されて購入・契約した者の比）を求めることもできる。

(1) 各種訪問販売商法について、「勧誘されたが購入・契約を断わった」体験

A. 「勧誘されたが購入・契約を断わった」体験の有無

表12A欄のとおり、地域別にみると、全体で203人（85.7%）と、10人のうち約9人が「断わったことがある」と答えており、「勧誘されたことがない」者はわずか34人（14.3%）にすぎず、勧誘のすさまじさを物語っている。岡山市55人（82.1%）、倉敷市87人（87.0%）、福山市61人（87.1%）と、岡山市が少し低くなっている。性別では、男性153人（86.4%）、女性49人（83.1%）で、やや男性が多い。年代別では、60歳代は55人（93.2%）、70歳代は119人（84.4%）、80歳以上は26人（76.5%）で、加齢にともない低下している。

B. 「勧誘されたが購入・契約を断わった」商法数

「勧誘されたが購入・契約を断わった」体験の商法数の最高は表12A欄のとおり、地域別では、岡山市では18種、倉敷市では19種、福山市では20種である。性別では、男性で20種、女性で12種である。年代別では、60歳代で19種、70歳代で20種、80歳以上で18種である。地域別、性別、年代別のいずれも多種勧誘されている。

C. 「勧誘されたが購入・契約を断わった」商法のベスト5

表13A欄のとおり、ベスト5は、全体で、①かたり商法46.0%②先物取引等（小豆・砂糖・ダイヤモンド・金など）44.5%③危険です商法39.2%④S F商法35.4%⑤ホームパーティー商法33.3%となっている。

(2) 各種訪問販売商法について、「勧誘されて購入・契約した」体験

A. 「勧誘されて購入・契約した」体験の有無

表12B欄のとおり、地域別にみると、全体で85人（35.9%）と、10人のうち約4人が「購入・契約したことがある」と答えている。岡山市24人（35.8%）、倉敷市30人（30.0%）、福山市31人（44.3%）と福山市が高くなっている。性別では、男性60人（33.9%）、女性25人（42.4%）と女性の方が高い。年代別では、60歳代は27人（45.8%）、70歳代は48人（34.0%）、80歳以上は9人（26.5%）と、60歳代が最も多く、加齢にともない低下している。

B. 「勧誘されて購入・契約した」商法数

「勧誘されて購入・契約した」体験の商法数の最高は表12B欄のとおり、地域別では、岡山市で9種、倉敷市で3種、福山市で4種である。性別では、男性で9種、女性で4種である。年代別では、60歳代で9種、70歳代で4種、80歳以上で3種である。

C. 「勧誘されて購入・契約した」商法のベスト5

表13B欄のとおり、ベスト5は、全体で、①S F商法11.0%②景品商法8.9%③安全です商法5.9%④見本工事商法5.1%⑤かたり商法4.6%となっている。

(3) 各種訪問販売商法について、「勧誘されたことがない」体験

表12A欄のとおり、「勧誘されたことがない」者は全体でわずか34人（14.3%）に過ぎない。「勧誘されたことがない」のベスト5は表13C欄のとおり、①名義借り商法93.7%②キャッチ商法92.4%③母親テスト商法91.1%④無料招待旅行商法90.3%⑤押しつけ商法89.5%となっている。

(4) 各種訪問販売商法の購入・契約率(勧誘されたが断わった者と、勧誘されて購入・契約した者の比。)

上記(2)のCのとおり、「勧誘されて購入・契約した」体験の商法のベスト5は、全体で、①S F商法11.0%②景品商法8.9%③安全です商法5.9%④見本工事商法5.1%⑤かたり商法4.6%となっている。し



かし、実際に勧誘されたが断わった者と、勧誘されて購入・契約した者の比により、高齢者の陥りやすい商法が明確になる。

表13D欄のとおり、購入・契約率上位ベスト10の商法は、全体で、①景品商法30.4%、約3.3人に1人②SF商法23.6%、約4人に1人③安全です商法20.3%、約5人に1人④靈感商法18.0%、約5.5人に1人⑤見本工事商法16.7%、約6人に1人⑥母親テスト商法14.3%、講習会商法14.3%、約7人に1人⑧キャッチ商法11.1%、約9人に1人⑨儲けたい商法10.3%、約9.7人に1人⑩かたり商法9.2%、ホームパーティ商法9.2%、約11人に1人となっている。無料の景品やサービス品でつる、高齢者の健康不安につけ込む、高齢者の宗教的不安をかきたてる商法が上位となっている。

## IV 考 察

### 1 高齢者の『訪問販売』に関する知識取得および知識普及について

悪質な訪問販売の被害を防止するためには、高齢者が堅実な人生観をもつとともに、訪問販売に関する「講演・話」を聞き、その手口、契約、クーリング・オフ、消費生活センター等に対する知識を身につけることが重要である。幸い「講演・話」を聞いたことがあると答えた者は、全体では87.8%と高くなっている。

しかし、今回の調査の自由記述（略）には、訪問販売の規制には含まれない生鮮食料品の移動販売や御用聞き販売を便利で、利用価値があると評価している高齢者もあるので、「講演」等でその点の明確な指摘が必要である。金額的にも3,000円未満の現金取引等にはクーリング・オフが適用されないこと、また、訪問販売と混同しやすい「現物まがい商法」「投資顧問業」「ネズミ講」「海外商品先物取引」との相違についても同様である。

「講演・話」については、男性はメディア依存型で、女性是对話依存型である。また、80歳以上は「老人大学」など社会教育参加型が多く、高齢でも元気で活動的な姿がうかがわれる。年代にかかわらず「テレビ」等の役割は大きいものの、一方では、高齢者の参加しやすい地域での講演会（老人クラブでの講演会、老人大学、公民館講座）を開くことも重要である。その際は、市役所担当課、消費生活センター、警察の「悪徳商法110番」などとの連携をもって行うことが望ましい。

「テレビ」と並んで、訪問販売に関する情報を提供している「新聞記事」「市政だより記事」については、その記事効果を高めるためには、高齢者向きに活字を大きくする、見出しやスペースを工夫する、各種訪問販売商法の手口一覧・定期的連載といった切り抜き保存可能な記事にすることが望ましい。

「警察の広報」「消費生活センターの広報」に対しては、人口規模により対照的な結果となっており、人口の多い岡山市は「消費生活センターの広報」に対する期待が高く、人口の少ない福山市は「警察の広報」に対する期待が高くなっている。70歳代・80歳以上は「警察の広報」に対する期待が「消費生活センターの広報」より高くなっている。したがって、高齢者の多い地区では訪問販売に関する「警察の広報」活動等により力を注ぐことが望まれる。

### 2 高齢者の『訪問販売』に対する意識等について

『訪問販売』に対する意識については、全体では、「訪問販売では不必要なものを買わされると思う」者が最も多く、次いで「訪問販売には悪徳業者が多いと思う」者が多い。女性には「不必要なものを買

わされると思う」者が多いが、逆に男性は「悪徳業者が多いと思う」者が多く、訪問販売をめぐるトラブルに巻き込まれたとき、「警察に届ける」者が男性に多いことを示している。「警察に届ける」者は全体でもトップであり、地域別では倉敷市、福山市に多く、性別では男性、年代では70歳代・80歳以上に多い。このことは訪問販売に関する知識の普及について、「警察の広報」に対する期待の高さと適合している。「警察に届ける」に次いで「消費生活センターに相談する」「家族に相談する」と続き、さらに「市役所の担当課に相談する」となっている。

以上のことから、警察の「悪徳商法110番」など気軽に相談できる窓口のPR、消費生活センターを中心とした『訪問販売』知識の普及や悪徳商法への注意喚起、家族への訪問販売知識の普及、市役所担当課の『訪問販売』知識の啓発などが重要となる。

『訪問販売』への対応については、「不必要なものを買わされると思う」「悪徳業者が多いと思う」とのイメージが強いため、「断る」という者が圧倒的に多い。特に女性に「断る」という者が多い。この点は、訪問販売業者、訪問販売協会等による『訪問販売』イメージ改善のための自主的努力が待たれるところである。

訪問販売に関する「高齢者取消権」については、圧倒的に賛成が多くなっている。「高齢者は未成年者とは異なって、社会経験が豊富なので取消権を認めなくても大丈夫である。」との意見は、複雑・多様化する現代社会で、巧妙な新手の商法がつぎつぎあらわれている状況下では、あまり通用しないことの自覚の表れと解される。加えて、悪徳商法では高齢者と若者が狙われやすいとのPRも行なわれており、不況を背景とした生活への不安も反映していると思われる。「高齢者取消権」は創設に向けての再検討が必要となろう。

高齢者を訪問販売の一部悪徳商法の被害から守る方策については、全体では、「高齢者も訪問販売の知識をもっと身につける」が最も多く自衛意識が強いが、次いで「悪徳業者の取締りや罰則を厳しくする」「高齢者にも取消権を認める」が続いている。男性は訪問販売に厳しい意識、女性はやや寛容的な意識を示している。70歳代・80歳以上では「悪徳業者の取締りや罰則を厳しくする」が多く、訪問販売法の厳格・適正な運用や規制の強化が望まれる。

### 3 高齢者の各種『訪問販売商法』の被勧誘、購入・契約体験および購入・契約率について

高齢者の各種訪問販売商法体験について、「勧誘されたが購入・契約を断った」体験がある者が85.7%、また「勧誘されて購入・契約した」体験がある者が35.9%もあり、『訪問販売』の拡がり確認された。『訪問販売』について、商法ごとの被勧誘の多少と購入・契約者の多少とは、順位は必ずしも一致しないこと、また購入・契約率の高い商法が明らかになった。この点、『訪問販売』については、被勧誘の多い商法、地域と、購入・契約率の高い商法、地域との二面からの対策が必要である。

以上、『訪問販売』知識取得・トラブル対策・悪徳商法被害防止のため、高齢者は日頃家族、近隣、友人・知人とのコミュニケーションをよくし、テレビ・新聞・市政だよりなどに目を通すことが望まれる。老人クラブの講演会・老人大学などへの参加も望まれる。新聞・市政だよりなど情報提供メディアに対する要望、さらに警察・消費生活センター・市役所担当課など行政機関に対する要望は既に述べたとおりである。法律面についても上述のとおり、『悪徳商法』に対する取締りや罰則の強化、高齢者取消権の

創設再検討などが望まれるところである。

付記 本研究は、中国短期大学特別研究費の助成を得て行ったものである。調査に御協力いただいた岡山市・倉敷市・福山市各老人クラブ役員および会員の方々に厚く感謝の意を表します。

## 注

- [1] 拙稿「『訪問販売』の研究Ⅰ」（中国短期大学紀要第21号，1990年6月）  
拙稿「『訪問販売』の研究Ⅱ」（中国短期大学紀要第22号，1991年6月）
- [2] 昭和60年に総理府が実施した「消費者問題に関する世論調査」でも回答者の84%が訪問取引を必要ないと考え、利便性ありとする人は僅かに9%にすぎない。しかも不安不信感を持つ回答者は44%にのぼり、訪問取引を利用したことのある回答者の60%が「被害に遭った」と認識している（兵藤俊一「研究会報告書の批判的検討」－訪問取引を中心として－有斐閣『ジュリスト』901号24頁）。
- [3] 高齢者取消権に否定的見解を述べたものとして、森島昭夫「訪問販売等問題研究会報告書について」（有斐閣『ジュリスト』901号13頁）。

## 『訪問販売』の研究 Ⅲ

表12 勧誘されたが購入・契約を断った体験，勧誘されて購入・契約した体験 (単位：人)

区分 体験	地域別								性別				年代別					
	岡山市		倉敷市		福山市		計		男		女		60歳代		70歳代		80歳以上	
	A*	B*	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
1種	10	10	3	21	8	17	21	48	17	32	4	16	8	12	7	27	6	8
2	7	7	11	5	6	9	24	21	20	16	3	5	5	9	14	12	3	0
3	9	4	8	4	8	4	25	12	19	8	6	4	2	4	18	7	5	1
4	2	2	13	0	10	1	25	3	14	3	11	0	6	1	17	2	2	0
5	3	0	15	0	6	0	24	0	15	0	9	0	5	0	16	0	2	0
6	11	0	8	0	7	0	26	0	21	0	5	0	5	0	18	0	3	0
7	4	0	10	0	3	0	17	0	12	0	5	0	5	0	12	0	0	0
8	2	0	1	0	4	0	7	0	5	0	2	0	4	0	3	0	0	0
9	1	1	4	0	2	0	7	1	6	1	1	0	3	1	2	0	1	0
10	2	0	3	0	3	0	8	0	7	0	1	0	2	0	5	0	1	0
11	1	0	3	0	0	0	4	0	4	0	0	0	2	0	1	0	1	0
12	0	0	2	0	3	0	5	0	3	0	2	0	3	0	2	0	0	0
13	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
16	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	1	0	3	0	0	0	4	0	4	0	0	0	1	0	2	0	1	0
19	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
体験あり	55	24	87	30	61	31	203	85	153	60	49	25	55	27	119	48	26	9
体験なし	12	43	13	70	9	39	34	152	24	117	10	34	4	32	22	93	8	25
計	67	67	100	100	70	70	237	237	177	177	59	59	59	59	141	141	34	34

\* A. 勧誘されたが購入・契約を断った体験 \* B. 勧誘されて購入・契約した体験

表13 訪問販売被勧誘，購入・契約体験まとめ

(地域別)

商法名	地域別 体験	A. 勧誘された が断った		B. 勧誘されて 購入・契約 した		C. 勧誘された ことはない		D. 購入・契約率 $\frac{B}{A+B}$	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	割合	注
かたり商法	岡山市	33人	49.2%	3人	4.5%	31人	46.3%	8.3%	
	倉敷市	48	48.0	3	3.0	49	49.0	5.9	
	福山市	28	40.0	5	7.1	37	52.9	15.2	勧誘された高齢者の
	計	109	① 46.0	11	⑤ 4.6	117	② 49.4	⑩ 9.2	約11人に1人購入・契約
靈感商法	岡山市	11	16.4	3	4.5	53	79.1	21.4	
	倉敷市	28	28.0	6	6.0	66	66.0	17.6	
	福山市	11	15.7	2	2.9	57	81.4	15.4	〃
	計	50	③ 21.1	11	⑤ 4.6	176	⑩ 74.3	④ 18.0	約6人に1人購入・契約

## 『訪問販売』の研究 Ⅲ

商法名	地域別	体験		A. 勧誘された が断わった		B. 勧誘されて 購入・契約 した		C. 勧誘された ことはない		D. 購入・契約率 $\frac{B}{A+B}$	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	率	備考
3 SF商法	岡山市	18人	26.9%	5人	7.5%	44人	65.6%			21.7%	
	倉敷市	39	39.0	12	12.0	49	49.0			23.5	
	福山市	27	38.6	9	12.9	34	48.5			25.0	勧誘された高齢者の
	計	84	④ 35.4	26	① 11.0	127	⑳ 53.6	②	23.6	約4人に1人購入・契約	
4 講習会商法	岡山市	8	11.9	2	3.0	57	85.1			20.0	
	倉敷市	13	13.0	2	2.0	85	85.0			13.3	
	福山市	9	12.9	1	1.4	60	85.7			10.0	〃
	計	30	⑯ 12.7	5	⑩ 2.1	202	⑦ 85.2	⑥	14.3	約7人に1人購入・契約	
5 危険です商法	岡山市	23	34.3	4	6.0	40	59.7			14.8	
	倉敷市	39	39.0	1	1.0	60	60.0			2.5	
	福山市	31	44.3	4	5.7	35	50.0			11.4	〃
	計	93	③ 39.2	9	⑦ 3.8	135	⑱ 57.0	⑫	8.8	約11人に1人購入・契約	
6 アポイントメ ント商法	岡山市	14	20.9	0	0.0	53	79.1			0.0	
	倉敷市	36	36.0	1	1.0	63	63.0			2.7	
	福山市	13	18.6	0	0.0	57	81.4			0.0	〃
	計	63	⑧ 26.6	1	⑲ 0.4	173	⑪ 73.0	⑰	1.6	約64人に1人購入・契約	
7 ホームパーティ 商法	岡山市	18	26.9	4	6.0	45	67.1			18.2	
	倉敷市	47	47.0	1	1.0	52	52.0			2.1	
	福山市	14	20.0	3	4.3	53	75.7			17.6	〃
	計	79	⑤ 33.3	8	⑧ 3.4	150	⑰ 63.3	⑩	9.2	約11人に1人購入・契約	
8 景品商法	岡山市	10	14.9	4	6.0	53	79.1			28.6	
	倉敷市	23	23.0	7	7.0	70	70.0			23.3	
	福山市	15	21.4	10	14.3	45	64.3			40.0	〃
	計	48	⑬ 20.3	21	② 8.9	168	⑲ 70.8	①	30.4	約3人に1人購入・契約	
9 お礼商法	岡山市	16	23.9	1	1.5	50	74.6			5.9	
	倉敷市	28	28.0	0	0.0	72	72.0			0.0	
	福山市	10	14.3	1	1.4	59	84.3			9.1	〃
	計	54	⑪ 22.8	2	⑮ 0.8	181	⑨ 76.4	⑱	3.6	約28人に1人購入・契約	
10 無料招待旅行 商法	岡山市	6	9.0	0	0.0	61	91.0			0.0	
	倉敷市	10	10.0	0	0.0	90	90.0			0.0	
	福山市	6	8.6	1	1.4	63	90.0			14.3	〃
	計	22	⑱ 9.3	1	⑲ 0.4	214	④ 90.3	⑰	4.3	約23人に1人購入・契約	
11 押しつけ商法 (ネガティブ オプション)	岡山市	7	10.4	1	1.5	59	88.1			12.5	
	倉敷市	11	11.0	1	1.0	88	88.0			8.3	
	福山市	5	7.1	0	0.0	65	92.9			0.0	〃
	計	23	⑰ 9.7	2	⑮ 0.8	212	⑤ 89.5	⑭	8.0	約13人に1人購入・契約	
12* 母親テスト商 法	岡山市	3	4.5	1	1.5	63	94.0			25.0	
	倉敷市	10	10.0	1	1.0	89	89.0			9.1	
	福山市	5	7.1	1	1.4	64	91.5			16.7	〃
	計	18	⑲ 7.6	3	⑫ 1.3	216	③ 91.1	⑥	14.3	約7人に1人購入・契約	

## 『訪問販売』の研究 III

商法名	地域別	体験		A. 勧誘された が断わった		B. 勧誘されて 購入・契約 した		C. 勧誘された ことはない		D. 購入・契約率 $\frac{B}{A+B}$	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	率	備考
13 キャッチ商法	岡山市	4人	6.0%	2人	3.0%	61人	91.0%			33.3%	
	倉敷市	10	10.0	0	0.0	90	90.0			0.0	
	福山市	2	2.9	0	0.0	68	97.1			0.0	勧誘された高齢者の
	計	16	⑳ 6.8	2	⑮ 0.8	219	② 92.4	⑧	11.1	約9人に1人購入・契約	
14 見本工事商法	岡山市	14	20.9	6	9.0	47	70.1			30.0	
	倉敷市	29	29.0	1	1.0	70	70.0			3.3	
	福山市	17	24.3	5	7.1	48	68.6			22.7	〃
	計	60	⑨ 25.3	12	④ 5.1	165	⑮ 69.6	⑤	16.7	約6人に1人購入・契約	
15 資格(士)商法	岡山市	7	10.4	2	3.0	58	86.6			22.2	
	倉敷市	15	15.0	1	1.0	84	84.0			6.3	
	福山市	9	12.9	0	0.0	61	87.1			0.0	〃
	計	31	⑮ 13.1	3	⑫ 1.3	203	⑥ 85.6	⑫	8.8	約11人に1人購入・契約	
16 儲けたい商法	岡山市	8	11.9	2	3.0	57	85.1			20.0	
	倉敷市	19	19.0	0	0.0	81	81.0			0.0	
	福山市	8	11.4	2	2.9	60	85.7			20.0	〃
	計	35	⑭ 14.8	4	⑪ 1.7	198	⑧ 83.5	⑨	10.3	約10人に1人購入・契約	
17 安全です商法	岡山市	12	17.9	6	9.0	49	73.1			33.3	
	倉敷市	27	27.0	4	4.0	69	69.0			12.9	
	福山市	16	22.9	4	5.7	50	71.4			20.0	〃
	計	55	⑩ 23.2	14	③ 5.9	168	⑫ 70.9	③	20.3	約5人に1人購入・契約	
18 名義借り商法	岡山市	5	7.5	1	1.5	61	91.0			16.7	
	倉敷市	6	6.0	0	0.0	94	94.0			0.0	
	福山市	3	4.3	0	0.0	67	95.7			0.0	〃
	計	14	⑳ 5.9	1	⑰ 0.4	222	① 93.7	⑮	6.7	約15人に1人購入・契約	
19** 先物取引等 (小豆・砂糖・ダイヤ モンド・金など)	岡山市	31	47.0	1	1.5	34	51.5			3.1	
	倉敷市	37	37.0	0	0.0	63	63.0			0.0	
	福山市	37	52.9	1	1.4	32	45.7			2.6	〃
	計	105	② 44.5	2	⑮ 0.8	129	⑰ 54.7	⑳	1.9	約54人に1人購入・契約	
20** 聖書販売	岡山市	17	25.8	3	4.5	46	69.7			15.0	
	倉敷市	23	23.0	0	0.0	77	77.0			0.0	
	福山市	26	37.1	0	0.0	44	62.9			0.0	〃
	計	66	⑦ 28.0	3	⑫ 1.3	167	⑭ 70.7	⑰	4.3	約23人に1人購入・契約	
21** 福祉商法	岡山市	21	31.8	3	4.5	42	63.7			12.5	
	倉敷市	27	27.0	2	2.0	71	71.0			6.9	
	福山市	21	30.0	1	1.4	48	68.6			4.5	〃
	計	69	⑥ 29.2	6	⑨ 2.5	161	⑮ 68.2	⑭	8.0	約13人に1人購入・契約	

\* 男性でAに○をした者(13人), Bに○をした者(3人)を含めた。

\*\* 多発している高齢者を対象とする海外商品先物取引, 現物まがい商法, 聖書販売, 福祉商法も含めて調査を行なった。

1993年3月31日現在の人口は, 岡山市600,606人, 倉敷市424,362人, 福山市373,419人である。